

1 群馬銀行について

群馬銀行グループのあゆみ

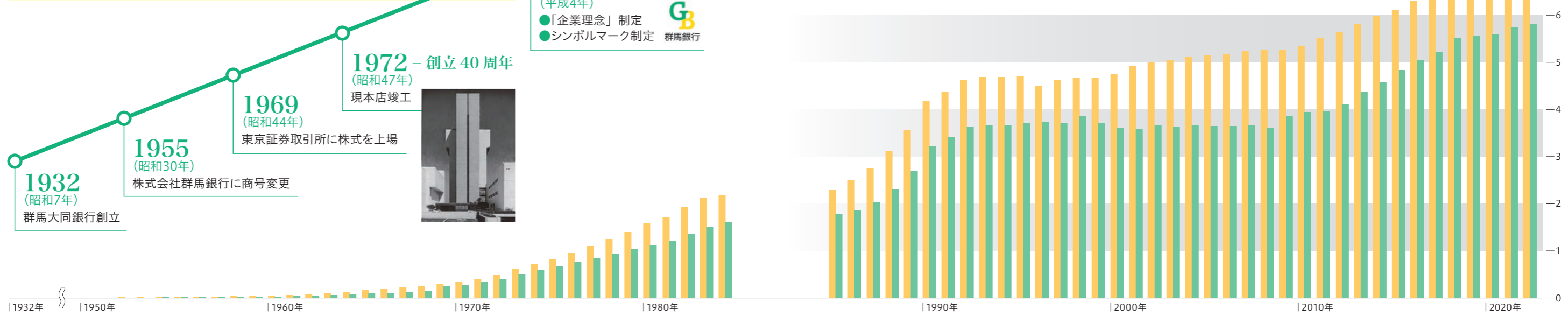
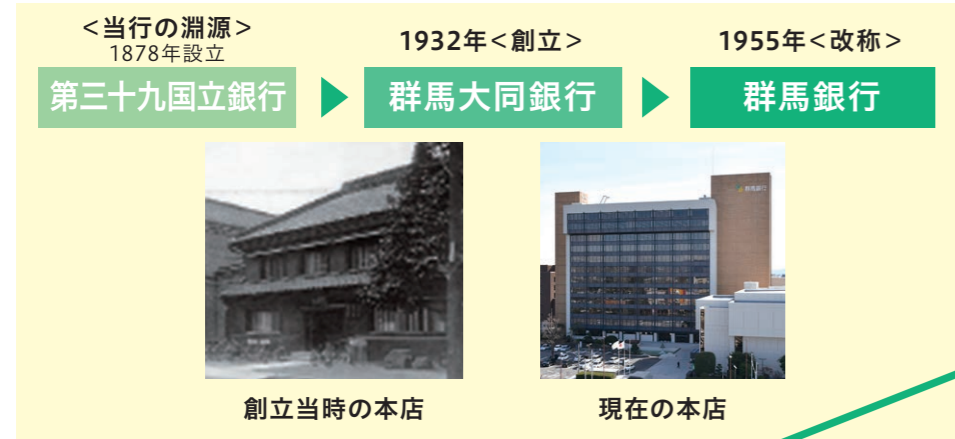
群馬銀行の源流は、1878年(明治11年)の「第三十九国立銀行」の設立まで遡ります。「第三十九国立銀行」は1898年(明治31年)に私立「三十九銀行」となり、1918年(大正7年)に上毛物産銀行と合併、名称を「群馬銀行」(第1次)としました。明治・大正期は、形態や名称を変更しながらも群馬県内最大の銀行として、繊維産業を中心とする県内企業への資金供給を行っていました。

昭和初期、県内の銀行は、前橋の「群馬銀行」(第2次)、高崎の「上州銀行」、渋川の「上毛銀行」を中心とした3つの銀行圏に分かれていました。国が金融機能の安定化を目的に1県1行主義を打ち出すなか、1932年(昭和7年)に群馬県は自ら出資し「群馬県金融株式会社」を設立、

同社が群馬銀行・上州銀行と合併し、名称を「群馬大同銀行」としました。なお、当行はこの合併を決定した株主総会の開催日(11月20日)を当行の創立記念日としています。

群馬大同銀行は、戦中・戦後の混乱期を乗り越え、1955年(昭和30年)に行名を「群馬銀行」に改称。創立40周年の1972年(昭和47年)には、現在の本店が完成しました。

2022年、当行は創立90周年を迎えます。2021年11月にパーパスを制定しましたが、このパーパスを基軸とした事業活動を通じて、持続可能な社会の実現と経済価値の創造に努めてまいります。



グループ会社の設立・出資

- 1971.02 群馬中央興業株式会社 物品等輸送、ATM保守管理
- 1973.10 ぐんぎんリース株式会社 リース業務
- 1982.03 株式会社群銀カード クレジット業務
- 1983.09 群馬信用保証株式会社 ローン保証業務
- 1986.07 ぐんぎんシステムサービス株式会社 システム開発・販売業務
- 2016.02 ぐんぎん証券株式会社 証券業務
- 2016.07 (資本参加) スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社 投資信託委託業務
- 2018.04 ぐんぎんコンサルティング株式会社 コンサルティング業務
- 2018.06 株式会社フィンクロス・デジタル デジタル化推進
- 2020.12 ぐんま地域共創パートナーズ株式会社 ファンドの組成・運営

1 群馬銀行について

2 パーパスを実現するための戦略

3 パーパスの実現を支える経営基盤